



ヤマラツキョウ

## 1、2024年度作業報告－2

### 1) Q・R地点（冬水田んぼの復元）

Q・R地点は明治の初めころに造成された水田で昭和30年代には水田として耕作されていましたが、その後放棄され森になっていたところでした。植生回復作業で一年中水がある「冬水田んぼ」として再生しました。水田は6段あり、ここは上から6番目で⑥池と称しているところです。下左写真は休憩所のベンチがあるところから撮った写真で、下右写真は反対の池奥から撮った写真です。

昨年の大雨で西側の土手が壊れ、右側の水路から入った水と共に大量の砂礫が堆積しました。下左写真の右奥に見えるのが堆積した砂礫で、池の半ばまで埋めている状態です。



⑥池作業前（南西から：2024年12月9日）



⑥池作業前（北東から：2024年12月9日）



⑥池作業中（南から：2025年1月7日）



⑥池作業中（南西から：2025年1月7日）

修復作業は西側の壊れた土手に水漏れ防止のために塩化ビニール製の波トタンを幅30cm程度に切ったものを打ち込んで、内側に池の中に堆積した砂礫を入れた土嚢でおさえ、その上から池の中に堆積した土をかぶせて土手を作り直しました。上右写真は池の中に溜

まった砂礫で土嚢を作っているところでは、

右写真は作業終了直後の状態です。画面左と手前は修復した土手で、春になればミゾソバを中心とした湿生植物が発芽してくると予想しています。

⑥池は旧水田に水を入れたもので、水深は浅いですが、カワムツが多く見られます。現在は体長3cmほどの稚魚が見られますが、夏場は体長15cmほどの成魚と共に多くの稚魚が見られるようになっています。

カワムツの稚魚を狙って、カワセミが来るようになりました。池の奥（北側）が定位置で、ほぼ毎日来ており、何度も水中に飛び込んで魚を食べています。人がいないときにはあまり警戒せず、池の手前側にある木にとまって魚を

狙っています。池の手前からカワセミのいる池の奥までは10mほどで、近くで魚を捕るところが見られるので人気の写真撮影スポットになっています。

また、⑥池は水深も浅く、アオサギが来ていたこともあり、鳥にとって魚を取りやすい良い餌場になっているようです。

⑥池ではホトケドジョウやヤゴ等の水生昆虫も多く見られるようになり、ニホンイシガメも見られます。冬水田んぼとして復元すると多種多様な動物が来るようになりました。2月の終わりから3月初め頃には、アズマヒキガエルも産卵に来るようになっており、今年も産卵してくれると思います。



⑥池（南西から：2025年1月28日）



カワムツを狙っているカワセミ  
（2025年1月13日）

カワセミ近景  
（撮影：大木廣美）

## 2) H地点西側の木の伐採

H地点西側の木の伐採はかなり進み、目標の親子岩近くまで終了しています。今年の作業では予定した木をすべて伐ることはできないようですが、ほぼ終了近くまで作業が進むと思われます。来年の作業では、バックホーによる木の根の伐根作業と、ネザサやコシダ等の根の層の剥ぎ取りを行うつもりです。



**H地点西作業中（北から：2024年12月10日） H地点西作業中（南から2025年1月7日）**

下写真は木の伐採前と伐採後の写真で、伐採範囲の南側（写真左側）と北側（写真右側）から撮影したものです。写真右側の中央に帯状に写っているのは、前回の伐根時に仮置きした根の山です。来年の伐根時にはバックホーで撤去して林縁部に再配置するつもりです。



**H地点西作業前（北から：2024年9月18日） H地点西作業前（南から2024年9月18日）**



**H地点西作業後（北から：2025年2月26日） H地点西作業後（南から2025年2月26日）**

### 3) カザグルマ保全のためのササ刈り

四の沢沿いのL地点は植生回復作業で明るい森にしたところで、カザグルマが順調に増えています。明るくなることによりネザサが繁茂してカザグルマやミカワバイケイソウを圧迫しているため毎年ササ刈りをしています。カザグルマの蔓を切らないように黄色い紐を張って保護し、外側は草刈り機で除草し、内側は手作業でカザグルマの蔓を切らないように作業しています。



L地点作業中（2024年11月19日）

Q地点作業中（2024年11月19日）

## 2. ヤママユの交尾

葦毛湿原へと続く林道上にヤママユが舞い降りてきました。交尾しようとしているようでしたが、しばらくすると飛び去ってしまいました。

ヤママユは天蚕（テンサン）とも呼ばれ、繭は薄い黄緑色で淡緑色の絹糸が取れます。ヤママユは触角が羽毛状で幅広いのがオス（♂）で、櫛の歯状になっているのがメス（♀）です（下写真）。

葦毛湿原では、コナラの枝先に繭が付いているのを見ることができます。



ヤママユ♂+♀（2024年10月6日）



ヤママユ♀



ヤママユ♂